

いふ今の世に水田と濠と濠とてにこと
づこと刑とまゐる国は海福の濠田より
る事一カ必皆同事と

大室村の事を白鳥村ともいふ或人曰當村
の舊名白鳥を傳りて神祇とて今ハ親者
と稱されも此傳を至聖とていふといふ
日本書紀仲哀紀曰元年冬十一月乙酉
朔詔群臣曰朕未逮于弱冠而父王既崩
之乃神靈化白鳥上天仰望之情一日勿
息是以異獲白鳥養之於陵域之池因以

一 觀其鳥欲慰願情則令諸國得貢白鳥
十一月乙卯朔戊午越國貢白鳥四隻云
下畧當カハ上右城の内なり白鳥を貢
ふも一て白鳥村といふ一や白鳥を傳り
て神祇とて一ハ仲哀帝の弟父日本武
尊を多り是を大室と稱一別村名は用來
一もや民官より出る村名はあつて保
城赤城中城後宮城の五つを云ふより白
鳥を貢ふると云定まへと云ふありて
似るを記して後人考へて便とす